

囲いやま森の会 活動記録（第 344 回）

壱岐貞俊

開催日：2017.4.1（土）10:00～11:00 天気：小雨

参加者：三嶋・森山

3月21日：雨天中止

今日から4月で新年度。常盤平サクラ祭りで賑やかな駅前とさくら通りに屋台が並び、八柱から五香までサクラ祭り一色の賑わいです。サクラは5分咲きでちょっと寂しいが人出はまずまずで、花より団子！ 小雨が降り寒い一日で、森山さんが作業後の様子見に訪れたただけでした。入口から東側の道路沿いのゴミ拾いは、一袋でした。

森の中ではウグイスが上手に鳴いて、雨も歓迎か？

壱岐さんと森山さんが3月に作業をした出来栄を写真撮影。

①倉庫の扉を補修（カギがかかるように）、②広場の小屋に囲いと扉を設置、③北西の通
用口の門扉？を設置、南西の開墾地の確認など。…ご苦労様でした。

常盤平のサクラ祭りで石川さんにご挨拶、第6回オープンフォレスト予定を報告。

4月18日（火）は作業日で、昼食会を兼ねての“総会”食事の手配があり、壱岐さん
に申込みください。



倉庫の扉の鍵を補修



仮設小屋が立派に出来上がり



南西の通用口



南西の開墾地



ショカツサイ・ヒメオドリコソウが花盛り

囲いやま森の会 活動記録（第 345 回）

壺岐貞俊

2017.04.18（火）10:00～13:30 天気：晴

参加者：赤石・壺岐・井口（総会欠席）・木村・佐久間・西澤・野口・野口 y・
馬場・三嶋・森山 計 11 名

天気予報通り昨夜来の雨も上がり少し蒸し暑いが晴天に恵まれた。
午後に総会・昼食を控えていること、前 2 回が雨で流れ今年度初の活動であることから、
森を見て回り新たな課題などの発見に努めた。

（1）打合せ・連絡事項など

- ・4 月 29 日の「みどりと花のフェスティバル」の参加者確認。
- ・オープンフォレストに備え、
植生観察エリアの境界明示は強化し、通路の棕櫚縄張りは止める。
樹木の名札は古くなって脱落したのがあり、園路沿いだけでも更新するとよい。
従来区画に変更があるが、一般公開エリアは従来通り。
要所ごとに案内・説明看板を準備する。等々意見が出された。

（2）森での気づき事項など

- ・ウワミズサクラが植栽後初めて開花。イヌザクラとセットの花見会を 4 月 25 日に設定。
- ・ジュウニヒトエが植生観察エリア内で初めて確認された。
- ・熊野神社寄りの竹林（会の管理地外）にムサシアブミを数株みつけた。
- ・東南エリアの竹林に広場を造成したため、日が入るようになり植生の変化が期待。
- ・南西雑草地開墾エリアをどのようにするかを皆で提案をして造っていく。

（3）総会

2016 年度の活動報告と決算報告、2017 年度の活動計画と予算は承認され、
役員は継続で選任された。

代表：壺岐、副代表：佐久間、会計：井口、

皆さんからの意見は以下の通り

- ・南西雑草地など新たに開墾しており、森全体のエリア名称を決めると分り易い。
- ・南広場のステージ近くにコンパネ置き場の倉庫があるとよく、併せて作業用の鍬・鎌・シャベルなどの保管庫（小型の倉庫）を造るとよい。場所は後日選定。
- ・倉庫などの悪戯（ぶっ壊し遊び）があるので、安全配慮のため「立ち入り禁止」の表示を検討、どのような立て札にするかを別途検討。
- ・定例活動以外の会としての活動は、記録に残すとよい。
（例：緑と花のフェスティバル・高木小まつり・森の歌会など）
- ・樹木調査：2005 年 9 月に実施し、33 種 783 本の樹木確認を行い、2012 年 12 月に植物リスト 206 種を作成している。樹木確認は 10 年以上経過しているので再調査を行うことを検討し、植物リストは追加するものがあれば見直し検討を進めるとよい。
森の植生への関心は高いので、季節ごとの観察会を作業日の午後に設定し実施する
提案：初回は 5 月 6 日に開催予定とする。



マルバスミレ タチツボスミレ ムラサキケマン



ジュニヒトエ ムサシアブミ ミズタマソウ



ハルジオン ホウチャクソウ シュンラン



ショカツサイ(ハナダイコン) カラスノエンドウ 栽培のシイタケ

囲いやま森の会 活動記録（第 346 回）

壺岐貞俊

開催日：2017.5.6（土）10:00～15:00 天気：晴

参加者：壺岐・西澤・野口・野口 y・馬場・三嶋・森山 計 7 名

新緑の若葉と涼やかに吹き渡る爽やかな風に恵まれ絶好の日和である。オープンフォレスト月間の意識を参加者で共有し、周辺や園路の草刈・広場の片付けに精を出す。作業・昼食後、総会時の話し合いに沿い、春の「囲いやまの森」をじっくり観察、思わぬ変化も楽しんだ。

（1）打合せ・連絡事項など

- ・「緑と花のフェスティバル スタンプラリー」の報告。
- ・南西雑草地を開墾・整備をして、一部分にお花畑を造成する計画であったが、作業グループが計画を拡大して畑を造ることになったことについて、情報の共有化が十分できていなかった。造作物を造ったり森の改変を実施する場合は、石川さんに事前報告を行って趣旨説明をすることが必要でした。近々石川さんを訪問予定。
- ・総会資料で昨年度会計報告と次年度計画で繰越金に齟齬があったことを報告。
- ・オープンフォレストに協賛している「宝酒造」から提供された「田植セット」の配布。
- ・オープンフォレストのPR活動

森の掲示板等への追加貼付…西側 2 枚、チラシ「森へ行こう森で遊ぼう」の配布等

（2）作業

- ・入口周り、南広場（ステージ周り）及びケンポナシ周辺アの刈払機作業
- ・中央広場残材片付け（森のアート残材）
- ・ギンランなど保護のため立ち入り規制エリア変更（シュロ縄張り）

（3）春の自然観察

- ・総会時に囲いやまの財産ともいえる樹木調査・植生観察記録のメンテナンスが話題になった。10 年経過後の再調査を計画するのではなく、皆の目で植生の状況が変化を含めどんなものか観察し、その結果をみて対応を考えることにした。
- ・注目点は貴重種の生育範囲が拡大していること、ヤブニッケイの広場（新仮称）にキンラン生育が見られたこと、ハナйкаダの第 3 雌株の発見、北東のエリアにすくと伸びたシノタケの生育確認、今年はステージエリアのイヌザクラの花が樹全体についていること、植栽後 5～6 年して一方のウワミズザクラが開花したが片方は日当たりの関係で成長が遅れている様子などを語るにつけ、この 10 有余年の活動が感慨深く思えてきた。
- ・更に、この森では稀な？クマノミズキ・ナルコユリ・カマツカ・サワフタギ・フタリシズカ等、中には仮の名札のまま時を経ているが、馬場さんの解説を聞くと愛着が深まるから不思議である。南側広場の草地では、手つかずの笹原を一部刈払いした結果、実の付いたクワノキや桑の葉に取り付いたカイコの幼虫を観察できた。
- ・サルトリイバラの葉を見て「ガメノハ饅頭」を語り、カニツリクサ？でカニ釣りの実演あり等、童心に帰って楽しみました。

（4）南西雑草地開墾の経緯

- ・夏場、カナムグラ・ヤブカラシ・キクイモ等が繁茂し西側道路からの景観が悪い。

- ・上記が不法投棄の遠因ではないかとの思いがあった。
- ・昨年来、放置状態のソクズ原の整備を進めると自己満足ながら“見栄え”改善につながることを実感。
- ・同ソクズ原に生育するマユミのツル払いをするとマユミの景観ががぜん改善。
- ・ソクズ原でできる景観改善が、更に南の当該地で実現できないかとの思いに至る。
- ・更に、開墾に拍車をかけたのは、この春「みどりと花の基金」の助成金交付要領を見る機会があり、規定幅の道路沿いに規定面積以上の「花壇」を設けると助成対象の可能性あると考えた。
- ・元来このエリアはマンパワーの関係から手を付けられないので、放置を決め込んでいた。打合せ会では「実施できるなら整備を進めてよいだろう」という雰囲気であり、有志で開墾し、お花畑にしてみようということになった。
- ・土地の状態が堅ければ開墾はあきらめたが、スコップが簡単に入り笹の根も無理なく除去でき、埋設ゴミの除去は難であったが、多少時間はかかるが開墾可と判断。
- ・地主さんへの1年間の報告と次年度計画の相談はこの3月ごろから話題になっており、その際南西雑草地の話もしようと考えていたが、日程調整がつかないまま開墾は進めていってしまった。

お花畑から畑の造成

- ・4月中旬、一部開墾のできたところに試験的にフキを移植した。フキは早春の風物ゆえ花畑とは矛盾なしと考えた。
- ・畝に一部余りがあったため、花畑の植栽物候補に挙がっていたショカツサイ（当森に多い）を移植してみた。
- ・上記に対し、皆さんの意見は、フキには異論はなかったもののショカツサイは畝に植えるのではなく開墾地の周りに配置したらどうかという意見もあった。
- ・道路からの景観はソクズ園の整備・天然のキクイモの群生・開墾地周りにショカツサイ等の移植などを組み合わせればよいのではないかとの意見であった。
開墾地は花卉類に限定せず、提案のあった野菜類でもいいのかとの思いに至る。
- ・こうなれば後は、皆で収穫を楽しめて手間のかからないイモやカボチャ等、を定植・播種し、マルチの施設を試みた。



南広場の除草 残材片付け



南西の畑地 観察会



ハナйкаダ♂ ハナйкаダ♀ ジュウニヒトエ



サワフタギ ウワズミザクラ ミズキ



ウグイスカグラの実 クワコ クワの実

囲いやま森の会 活動記録（第 347 回）

壱岐貞俊

2017.05.16（火）10:00～13:30 天気：晴

参加者：赤石・壱岐・西澤・木村・野口・馬場・三嶋・森山

計 8 名

来 客：（里やま）槻、（緑ネット）渋谷・田中・藤田・鈴木

「森の文化祭」を終え、いよいよ「オープンフォレスト」を迎える。作業日の関係で現場の準備は今日中の完了を期し、遊具、立入り規制及び通路整備の 3 班体制を組み、心を一つに頑張った。残業にはなったが、何とか開催の目途はついたと思う。

（1）打合せ・連絡事項など

1) 「森の文化祭」の報告。天候の関係で来場者は少なめ等。

展示に供した手工芸品を一部「オープンフォレスト」時、販売することにした。

2) 「石川さん」訪問の件

「第 6 回オープンフォレスト」の開催案内

「森の歌会」は来年 3 月に有料で開催（出演者への謝金扱い）

南西雑草地の畑地化は継続実施でよい

北縁樹木が道路にはみ出し、倒れる危険性がありそうなので、石川氏の立会で状況を確認し、伐採や安全措置を検討することにした

現在 倉庫のある広場にあった仮設建物を倉庫にしたこと、ステージ近辺にコンパネ保管の倉庫を造ることは理解いただいた。

3) 「オープンフォレスト」の入場者対応を周知した。

（2）作業

- ・大ブランコ・木登りネット・垂直ネット・ターザンロープ設置
- ・立ち入り規制エリアの麻縄による明示。
- ・南側広場の刈払機で除草

（3）自然観察

- ・若いアカボシゴマダラ 3 匹のメスを巡る、又は縄張りの争いを目撃
- ・藪から飛び出て木々の陰に隠れたウグイスの一瞬の動きを目撃
- ・ヤマウコギの開花 など



ヤマウコギ 大ブランコ

囲いやま森の会 活動記録（第 348～350 回） （第 6 回オープンフォレスト）

壱岐貞俊

2017. 05. 21（日） 8:30～16:00 天気：晴

参加者：赤石・壱岐・木村・野口・野口 y・森山 6 名

来訪者：17 名

2017. 05. 23（火） 9:30～13:00 天気：晴

参加者：壱岐・西澤・野口・野口 y・馬場・三嶋・森山 7 名

来訪者：19 名

2017. 05. 28（日） 9:00～15:30 天気：晴

参加者：赤石・壱岐・岩田・木村・西澤・野口・野口 y・馬場・三嶋・森山 10 名

来訪者：森めぐりツアー 27 名 一般 43 名

公開内容：森の案内 紙芝居 ハンモック 2 木登りネット ロープネット登り ブランコ
ターザンロープ スラックライン 手工芸品の提供と一部販売 各種工作 竹・樹木切断体験

21 日は早出でスラックライン・ハンモック・紙芝居台の設置、OF の横断幕・木や花の説明書や通路案内の取り付け等をそそくさと済ませ来客に備えた。好天で多くの人出を期待したが、昨年の 1/3 弱の入りだった。その分、来客は心いくまで森での遊びを満喫頂けたようだ。

23 日も夏日の暑さに見舞われたが爽やかな風に恵まれ、森は快適な環境を提供してくれた。来客もまずまずの賑わいで、受付の近くではコゲラの活動が肉眼で観察できたし、イボタノキの開花にも出会え、我々の満足度は大きかったと思う。

尚、熊野神社境内にあるトイレ使用の便が図られていることに気付いた。神社の厚意に感謝。

28 日は朝一番に緑ネットのツアー客を迎え、オープンフォレストの気分が盛り上がった。

一般客の訪問も多くはないが間断なく続き、遊具や工作場所も常時賑わっていた。適度に余裕のある対応ができ、女子会然の盛り上がりもあったそう。

一部遊具を残したが、ほぼ片付けを終了し、**反省会（要点下記）**を済ませ散会した。

- ・イベントは準備が大変。会員には極力出席を促し個々人の負担軽減を図る。その意味で出席予定者を事前に確認する。

- ・緑ネットのツアーは保険料¥300 の徴収に依り参加者減していないか。各森の協力の仕方で改善が図れないか要検討。又、ツアーは森での滞留が短く通過のみの感がある。

募金：¥2,400 **物品売上：**¥2,900 **合計：**¥5,300 は会の収入。

次回 6 月 3 日（土）は、ごみの収集分別廃棄処理の予定。雨天時は 6 日（火）が臨時作業日。



囲いやま森の会 活動記録（第 351 回）

壱岐貞俊

2017.06.03（土）10:00～13:30 天気：晴

参加者：壱岐・井口・池田・野口・馬場・三嶋・松戸・森山 計 8 名

来訪者：2 名

「オープンフォレスト」を終えて、ほっとする間もなく夏季の作業を開始する。手始めは「ゴミ収集」で、南西雑草地を開墾したことでいつも以上の量になった。久しぶりの仲間には、南西エリアの状況をしかと観察して貰った。

また、通りがかりの女性 2 人が「囲いやまの森のノボリ旗」に誘われて入場された様で、我々にもオープンフォレストの余韻があり、森を丁寧に案内し喜んでもらった。

（1）打合せ・連絡事項など

- ・なし

（2）作業

- ・収集済みゴミの分別と回収場所への移動

ごみ袋の数量：ガラス・ビン類 17 袋

缶類 5 袋

プラスチック類 40 袋

可燃ごみ 3 袋

傘類・粗大ゴミ 15 個

（3）自然観察

- ・特にナシ



分別のゴミ



北西の角地に保管

囲いやま森の会 活動記録（第 352 回）

壱岐貞俊

2017.6.20（火）10:00～12:30 天気：晴

参加者：赤石・壱岐・西澤・野口・馬場・三嶋・森山

計 7 名

南西雑草地に元来備わった景観上のポテンシャルを生かし、それを通行人に如何表現するかには皆腐心しているが、道路寄りの雑草を刈りこむと途端に投棄ゴミが出鼻を挫きにかかる。森の入口に前回うず高く回収ゴミを積み上げたばかりだが、南西雑草地については後期ゴミとして収集に終始した。北縁は夏場定例の雑草刈払と片付け等に汗を流した。心躍る作業とは言いがたいが、この先の変化には大いなる希望はある。

（1）打合せ・連絡事項など

・ 6 月連絡会関連：

- 1) セタプロジェクトで淡竹 or 真竹を切り出して市内の学童クラブや児童館に配布の計画：6 月 27 日（火）9 時 30 分に「みなみの森」。

里やま応援団予算について、のぼり旗のメーカーが廃業したので、別途探す？

14 期のフィールドは、小浜屋敷の森の近くで高塚新田

- ・ みどり花への助成金申請のうち南西雑草地の景観に関する件
- ・ 夏季の観察会は、次回作業日の 7 月 1 日（土）を予定。
- ・ ガーデンバッグ 2 個、竹箒 1 本を購入予定。

（2）作業

- ・ 北縁の刈払・片付け 及びハエドクソウの保護措置
- ・ 南西雑草地刈払跡地のゴミ収集
- ・ 南西雑草地後方の樹木（ソクズなど）にかかるツル類の除去・片付け

（3）自然観察

- ・ メジロ・ウグイス
- ・ アキアカネ・ムラサキシジミ・ナミアゲハ・コムスジ、ウメエダシャク



南西雑草地ゴミ収集 ゴミ収集後



北側道路脇の除草整備



アキアカネ ウメエダシャク

撮った写真をよく見たら、ウスバキトンボでなく、どうやらアキアカネのようです。
これから山へ行って夏を過ごし、秋になったらまた里に下りてくるのでしょう。
この季節にアカトンボの写真が撮れたのは初めての気がします。
ガの写真も、どうにか写っていました。ウメエダシャクと言ひ、幼虫は尺取虫状、
食草はウメ・サクラ・エゴノキ・スイカズラなど多種。
成虫は昼でもよく飛んでいて、身近で見られるようです。

馬場